

会 議 録

作成月日	令和3年12月10日(金)	作成者職・氏名	まちづくり政策課 鈴木
会議名称	令和3年度第2回 大和町総合計画審議会		
開催日時	令和3年12月1日(水) 14:00~16:40		
開催場所	大和町役場3階 301会議室		
出席者	<p>○大和町総合計画審議会委員 17名(別添名簿参照)</p> <p>○事務局:大和町まちづくり政策課 課長 江本 篤夫、参事 武田 力也、課長補佐 早坂 基、 係長 鈴木 達也、主任 齋 貴大</p> <p>○町関係者:町長 浅野 元、 総務課長 千葉 正義、町民生活課長 阿部 昭子、子育て支援課長代理 副参事 庄司 太一、商工観光課長 浅野 義則、都市建設課長 亀谷 裕、教育総務課長 文屋 隆義、生涯学習課長 瀬戸 正昭</p> <p>○コンサル業者:ランドブレイン株式会社 所長 黒川 朋広、主任 佐瀬 征利 (合計31名)</p>		
議 事	<p>(1) 大和町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2年度実施事業について</p> <p>(2) 大和町第五次総合計画(素案)について</p> <p>(3) 大和町第五次国土利用計画(素案)について</p>		
	司会進行:大和町まちづくり政策課 江本課長		
	1 開 会		
	2 開会の挨拶		
鈴木会長	<p>皆さまこんにちは。本日はよろしくお願いいたします。12月ということで、今年も残すところ1ヶ月となりましたが、コロナだ、選挙だと言っているうちにあっという間に1年が過ぎたような感じがしております。皆さまも師走に入り、何かとお忙しい中、本審議会にご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>前回の会議では構想の素案について審議したところですが、残念ながら提示された素案の内容が十分でなかったこともあり、十分な議論にはいたりませんでした。これからの審議会のスケジュールを見ますと、今日を含めて残り2回となっています。最終となる次の会議は2月の中下旬となっていますので、仮に色々な意見が出て計画に反映させるのは非常に難しい時期にきているのかと思います。したがって本日の審議会は非常に大事な位置づけになるかと思います。そういうことを念頭に置きながらしっかりした議論をしていければと思います。町長も関係課長もご出席されていますので、どうぞ皆さまには遠慮なく、しっかりと率直な意見をいただければと思います。</p> <p>第五次総合計画は予定を2年前倒して作成することになったわけですが、そういった町の意気込みというものがこの計画の中にしっかり反映されて、そして町民の皆さまにもご賛同・ご理解、そして参画を得ていくような計画になることを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>		

町長	<p>皆さまこんにちは。本日は第2回の総合計画審議会にお集まりいただきましたことをまずは心から感謝を申し上げたいと思います。会長からお話ありましたとおり、12月に入ってお忙しい季節になってまいりました。また、今は晴れていますが、今朝は荒れた天気の中、お集まりいただきましたことを感謝申し上げます。</p> <p>今年最後の月ということで、この1年間大変ご協力をいただきましてありがとうございます。新型コロナウイルス感染症等々でなかなか思ったとおりの事業が実施出来ず、スケジュール的に大変なご苦労をおかけしながらこの審議会を開催させていただき、本当に有難く思っているところでございます。</p> <p>これまでご案内のとおり、2年前倒して第五次総合計画の策定に今取り組んでおります。まち・ひと・しごと創生総合戦略、第五次国土利用計画の策定も併せて、皆さまには大変な難儀を掛けたと思っております。あと2回ということで、どうぞ忌憚ないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>本日は8月6日付けで諮問をいたしました「まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価及び検証」そして「第五次総合計画の策定」について、一部答申をいただきたいと存じますのでよろしくお願い致します。</p> <p>なお、本日の審議会にはまち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられている事業の担当課長も出席しております。これから10年先のまちづくりの基本となる大事な計画でございます。</p> <p>ご協力を改めて申し上げまして挨拶に代えさせていただきたいと思っております。よろしくお願い致します。</p>
事務局 (江本)	<p>本日の審議会につきましては、ご本人出席14名、代理でご出席いただいている方2名、欠席のご連絡をいただいている方3名、遅れてご出席予定の方1名となっており、大和町総合計画審議条例第5条第2項の規定に基づきまして、委員の半数以上の出席を賜っておりますので、会議が成立しておりますことをご報告致します。</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては条例第5条第1項の規定に基づきまして、会長に議長をお願い致します。まずは議事録署名委員の選出をいただきまして、その後議事に入らせていただきますよう、よろしくお願い致します。</p>
	<p>3 議 事</p>
鈴木会長	<p>それでは議事に入る前に議事録署名人を指名させていただきたいと思っております。前回は私と平岡会長職務代理が署名をしておりましたが、本日は平岡会長職務代理が欠席のため、若生委員にお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
若生委員	<p>了承。</p>
鈴木会長	<p>それでは私と若生委員で署名をさせていただきたいと思っております。よろしくお願い致します。</p> <p>では「(1) 大和町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2年度実施事業について」事務局より説明願います。</p>

	<p>(1) 大和町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2年度実施事業について</p> <p>資料1</p> <p>説明：事務局 鈴木</p>
	<p>質 疑</p>
鈴木会長	<p>総合戦略については、いずれ総合計画と一体化するわけですが、これまでの総合戦略事業が全体として移住定住や人口の増加にどの程度の寄与があったとお考えでしょうか。今の時点でどのように総括しておりますか。</p>
事務局 (江本)	<p>人口増加等々につきましては、まずは基本目標2の「大和町への移住・定住を促進する」に係る事業になると思いますが、それらの事業に加えて、基本目標1「大和町の安定した雇用を創出する」に係る事業などと併用を兼ねまして人口増加等に結びつけるよう事業をやってきたところでございます。</p> <p>実績値を見るとどうしても基準年から減少というところでございますが、その内訳を今後とも検証していければと考えてございます。</p>
鈴木会長	<p>地方創生については全国的に非常に低調なところもあって、難しい事業だと思います。次の総合計画の中でもいずれ人口が減っていくということを危機的に捉えて進めていくことになると思います。ぜひインパクトのある施策をうち出せばと思っています。</p> <p>2ページだと令和2年は社会増減数-244人と大きいのですが、先程はもみじヶ丘や落合からの流出、外国人関係という話でしたが、もう一度この辺りどう要因を分析されているのかお話しください。</p>
事務局 (鈴木)	<p>宮城県住民基本台帳に基づく宮城県の人口移動調査年報としましては-224人の社会減となっており、その内訳を確認しましたところ、県内・県外移動共に-119人と-124人、その他として-1人ということで県内外における移動の偏りは見られませんでした。</p> <p>地区別にみた場合、顕著に人口減少があったところは宮床のもみじヶ丘が平成31年から令和2年の間に-85人、鶴巣は-45人、落合は-43人となっておりました。年齢別にみると20～30代の方があわせて-310人程度と多くなっていました。また外国人の集計を見ると、令和元年12月と令和2年12月を比較した際に120人程度減少しておりましたのでおそらくコロナウイルス等に伴って外国人就業事業者が減少しているものと推測しております。</p> <p>また、町民生活課の窓口担当に伺った際3～4月に仙台市や富谷市に移動される世帯が多くみられたので、入学や就職により町外に転出される方が多いのではないかと推測しております。</p>
鈴木会長	<p>何かの施策を打ち出す場合、移動や移住で抜けていく要因をしっかりとつかんでいかないと対策の打ちようがないので、その辺りの評価をしっかりとお願いしたいと思います。</p> <p>それから3ページの子育て支援住宅に「今後も建築を控えていることから」とあるが、この「控えている」というのはどういう意味でしょうか。要するに計画があっても何かの要因があっても控えているという言い方なのか、単純に計画がこの後もいくつかあってその準備をしていますといった感じなのか。</p>

事務局 (江本)	子育て支援住宅については事業区域そのものと計画の戸数はございますが、徐々に担当課で整理をしながら事業の方は行っていくという旨で「控えている」という表現をさせていただいておりました。現在、計画はございませんので今すぐに整備するものではないものです。敷地はあるのですが今後の計画を見据えて実施をしていくということになります。
鈴木会長	まだ計画ははっきりしていないけれども敷地があるので状況を見ながら増やしていくということでしょうか。
事務局 (江本)	敷地の中で区画の整理はしてございます。今後の入居状況等々を見ながら計画を実施していくと考えております。
鈴木会長	今後この事業を総合戦略として扱っていくかどうかということはまた別として、わかるような表現にしてもらった方がいいかと思えます。 では次に移りたいと思えます。「(2) 大和町第五次総合計画(素案)について」資料2～7までということですが、ここには基本構想(素案)と基本計画(素案)がはいつています。本来は基本構想(素案)を固めてその上で基本計画(素案)を固めるという順序で進めるべきと思うのですが、こういうスケジュールで進んでおきまして、今後のことも考えると、基本構想と基本計画を分けて審議・議論してもしようがないかと思えます。したがって2つを一括して審議をいただきたいと思えますがよろしいでしょうか。
一同	(異議なし)
鈴木会長	それでは一括で説明をしていただいた上で、一括の質疑とさせていただきたいと思えます。それでは「(2) 大和町第五次総合計画(素案)について」資料2～7までご説明をお願い致します。
	(2) 大和町第五次総合計画(素案)について 資料2～7 説明：事務局 鈴木
	質 疑
鈴木会長	少し議事を戻します。先程「(1) 大和町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2年度実施事業について」一部答申ほしいという話が町長からもありました。先程の議論を踏まえて答申を出すことになります。 皆さまからのご意見もなかったこともございますので、答申については会長の私に基本的に一任をいただきまして、今日欠席でございますが、平岡会長職務代理に会議の概要を報告させていただきながら相談をして答申したいと思えます。ご了承いただけますでしょうか。
一同	(異議なし)
鈴木会長	はい。それではそのようにさせていただきたいと思えます。 議事を戻させていただきます。ご説明いただきましたけれども、皆さまからのご意見、ご質疑をいただきたいと思えます。後で今日言い足りなかった時には意見書という形で出すような流れになっております。今日が最後という気持ちですっきり意見をいただけたらと思えます。 すぐに意見が出てこないようなので、私から少し話をさせていただいて、途中

	<p>私の意見に対しての皆さまの意見でもいいですし、どんなことでも結構ですので、ご発言をしたいときにはどうぞ発言をしていただきたいと思います。</p> <p>資料2の2ページ、計画の趣旨の最後の段落ですが、骨子を作った時の表現と本素案で記述されているものが違ってきているのですが、それは単純なミスなのか、それとも意図があって議論の末変えたのでしょうか。素案では「著しく変化する社会情勢の中、このような課題に迅速かつ柔軟に対応するため」とあります。骨子では「大きく変化する社会的な潮流に的確に対応するため」との表現に修正したはずですが、変えた理由について説明をお願いします。</p> <p>これを修正するとき、私の発言の趣旨としてはそもそも10年間の総合計画というのは課題に迅速かつ柔軟に対応するという性格のものではなく、長期的視点に立って的確に対応するくらいの表現とすべきということ。修正されたはずなのですが。また元に戻っているということなのでしょうか。</p>
事務局 (江本)	<p>こちらにつきましては骨子の際に確定させていただいた趣旨と町内の中で意見照会等々あった中で出たものも踏まえて表現の方を多少変更したところがございます。ただ、長期的な視野というのも踏まえた中での考え方というのもございますので、骨子の表現にて修正致します。</p>
鈴木会長	<p>次に13ページなのですが、冒頭の記述で「国勢調査の結果によると、本町の人口は令和2年時点ではまだ増加傾向を維持しています」と記載があり、その通りだと思います。しかし、8ページの人口のグラフや総合戦略のグラフについては、住民基本台帳のデータを出しているのに、違和感がありました。仕方ないのかなとも感じていますが、同じデータであればすっきりすると思いますので、もう少し検討した方がいいと思いました。</p> <p>それから「平成30年の国立社会保障・人口問題研究所の推計人口を下回っており」についてですが、人口問題研究所を引用しながら「近く減少に転じ、少子高齢化も進行する」と記述しています。この引用部分は、どのような意図で書いていますか。単純に言うと、どうして人口問題研究所を引用したのでしょうか。</p> <p>また「少子高齢化も進行することが懸念されます」という表現についてですが、23ページの人口フレームでは「第五次総合計画期間終了後においても～約22,000人までの減少に留めることを目指します」とあります。したがって「懸念」というよりも、危機感というか、間違いなく人口が減っていくという意識をはっきり書いた方がいいのではないかと思います。</p> <p>それから次の14ページについて、一般的に課題が明確になっていないと感じております。特に「4. 教育・文化・学習」の「学校規模に応じた教育活動～」の部分で修正したという説明がありましたが、前は少なくとも課題意識・問題意識を書いていたと思います。ところが今回は、よりあいまいになり、全く課題意識・問題意識が記述されていないような内容になっています。これはどうかと思います。前は児童数の偏りによる教育の差が生じないための対策を講じる必要があるとの記述がありました。これは的を射た問題意識だったと思います。ただ、その時に私が言ったのは、その差とは具体的に何かというような内容で質問した訳ですが、それを受けて、今の素案のような表現になって課題意識がより不明確</p>

	<p>になっている。「4. 教育・文化・学習」全般的に言えることではあるが、特にこの項目が不明確であり、まず何が課題なのかなと思います。</p> <p>「学校規模に応じた教育活動～」とありますが、これはこの計画の期間10年間、今の小中学校の規模をそのまま変えないでいくことを書いているのですか。</p>
事務局 (江本)	<p>こちらにつきましては、教育委員会とその点について協議をし「一人ひとりの子どもたちの可能性を引き出す～」といった文科省の教育方針等を踏まえながら、それに沿って教育環境を進めていくことが求められるということでこのような表現にさせていただきました。</p>
鈴木会長	<p>要するに13・14ページについては、町としてそれぞれの項目でどういう問題・課題があるか、という整理をするところだと思いますので、今の回答はどうかと思います。</p>
事務局 (江本)	<p>教育委員会と協議させていただきながら、表現と課題の抽出についての表現の仕方を検討したいと思います。</p> <p>先程の人口ですが、こちら国勢調査の数値表等については確報が昨日公表されてございますので、国勢調査で統一をさせていただきたいと考えています。</p> <p>また、社会保障人口問題研究所の表現等を用いた考え方でございますが、これは国勢調査等々においては近年では増加傾向が見られるものの、研究所の推計によりますと、減少傾向に転じるということを表現として入れさせていただいたところございました。「懸念」という表現の仕方も、再度調整させていただければと思います。以上でございます。</p>
鈴木会長	<p>人口問題研究所を引用したことについては、協議をしたほうが良いと思います。先程の質問に戻りますが、即答できなければ、問題意識をもっておりますので、最終まで検討いただければと思います。</p>
手代木 委員	<p>資料2の中で、3点気付いたことがありました。</p> <p>まず17ページですが、基本構想の町の将来像を示していただきました。とてもいい、子供達にも説明できる将来像だと思いました。その中で敢えてサブタイトルを「～しあわせめぐるまち たいわ～」とひらがなで書いている意図についてご説明いただけるとありがたいと思います。</p> <p>2点目は36ページ「第2章 一人ひとりが健やかに育ち暮らせるまちづくり」の「主要施策」について「障がい児・者」という表記がありますが、今はあまり「障がい児」という表記は使っていないのではないかと思います。あるいはこれを言葉としてそのまま出して果たして適切なのか、とやや疑問に思います。</p> <p>最後3点目です。やはりどうしても学校にお世話になっておりますので、学校教育に関すること、興味深く読ませていただきました。38ページです。主要施策を読みながら、ここに書いてある通りだなと思いました。</p> <p>一方で、学校に勤務しておりますと、やはり教育委員会の管轄の中で、教育委員会からも、委員会としての方針等を示されています。そちらはどちらかということ、より直接的に子どもたちの教育や成長に関わることを具体にお示しいただいております。そういったことを踏まえて考えると、町として学校教育に関わって施策として書いていただくときに、ソフト面よりはハード面の例えば予算の</p>

	<p>面であるとか、施設・設備の面であるとか、あるいはこういった支援をするとか記載してはいかかかなと思いました。ちょうど隣のページ生涯学習の分野については、ハード面にも踏み込んでいるので、学校教育の分野では違和感がありました。以上です。</p>
荒井氏 (奥山委員代理)	<p>事前にいただいていた資料を拝読し、奥山の方から預かりました意見を述べさせていただきます。</p> <p>将来像について、まさに手代木委員の発言の通り、漢字・ひらがなの使い方についてですが、例えば「輝く」が漢字であったり、あるいは「くらし」がひらがなであったり、なにか町としての思いがあれば、お聞かせ願いたいです。</p> <p>もう1点、基本方針の順番が、これまでの流れから少し動いているかな、と思います。例えば「みんなでつくる安全にすみつづけられるまちづくり」が1つ目に来たり、3つ目に来たり、この並び順についても何かこだわりをお持ちかお聞かせ願えればと思います。</p>
鈴木会長	<p>それではお二人の意見について回答をお願いします。</p>
事務局 (江本)	<p>まず1点目でございます。町の将来像の副題部分を全てひらがなにしたことについてですが、誰もがこの意味を分かるように、それから優しく柔らかい表現ということ意識して「～しあわせめぐるまち たいわ～」とひらがなで表記させていただきました。</p> <p>「七ツ森の輝く」という表記につきましては、「輝く」という漢字は、このまま使用をした方が映えるということで、「元気なくらし」については、やわらかく元気があるような意図でひらがなとさせていただきました。</p> <p>続きまして2点目でございます。36ページでいただきました、「障がい児・者」という表記でございますが、こちらの表記につきましては、再度こちらで表記を検討していきたいと思っておりますので、大変ありがとうございました。</p> <p>続きまして38ページでございます。学校教育に係る施策の分野ということで、ソフト面だけでなくハード面も含めたかたちの表現としていかかか、というご意見もいただきました。この辺もご意見も踏まえながら、再度担当課と協議をしながら、詰めていきたいと思っております。まずご意見として、ありがたく頂戴したく思います。</p>
鈴木会長	<p>資料2 17ページ以降について、総括的にいうと、総合計画の性質上、網羅的にならざるを得ないということは理解できます。ただ総花的になってしまい、何に力点を置いて、この計画を今から進めるのかという焦点がぼやけしまうのはいかかかかと思っております。この10年間で、これを重点的にやっていく、という柱が何本かほしいと思っております。</p> <p>例えば県の総合計画は、もうスタートしているわけですが、最近の知事の発言では新たな柱に「社会全体で支える子育て」を掲げ、子育て支援を含めて人口減少社会に対応していくとのこととあります。そのように、全体的に町として内外にアピールするような柱がほしいと思っております。</p> <p>それから17ページの「人や企業に選ばれる町」というのがあります。これはこれでいいとは思いますが、せっかく扉の部分ですので、例えば「大和町に行っ</p>

	<p>てみたい、住んでみたい、住み続けたい、起業・経済活動の拠点としてみたい」といったことで選ばれる町、もう少し具体的に幅広に言ってはどうかという思いは持ちました。</p> <p>それから同じく「産業集積を引き続き進めつつ、農林漁業や商業などの振興を図り、それらの効果を町民の皆さんの福祉の向上や教育の充実などとも共有し」という記述についてですが、この部分の意味がよく分かりません。よく言われるトリクルダウンのようなことを意図しているのでしょうか。</p> <p>次に25ページについてですが、「分野別施策」に直に繋いで「重点プロジェクト」というのがあります。これを見ると「分野別施策」を牽引するような事業が「重点プロジェクト」であり、しかもこれが、まち・ひと・しごと創生総合戦略であると見せたかったようですが、重点プロジェクトにそれぞれどういった個別事業がぶら下がっているのか、この時点でははっきりしていませんのでなんとも言えないところがありますが、率直に言って、必ずしも施策を牽引するような重点施策ではないのではないか、ふさわしい重点施策なのかと思ってしまいます。</p> <p>例えば「1. 農林漁業の経営基盤の強化」に「①農山魚村にぎわい醸成プロジェクト」「⑦にぎわい創出プロジェクト」が当てられています。①⑦が「1. 農林漁業～」を牽引していく重点プロジェクトだと考えると、違和感があります。どのような議論の過程でこのような案となったのか、私は創生総合戦略と重点プロジェクトは別に整理しておいても問題ないと思います。一体化することにこだわって無理にこうすることには大きな違和感があります。分野別施策というのを推進していくために、重点プロジェクトは絶対に欲しいものですが、今の内容がふさわしいかということです。</p>
<p>事務局 (江本)</p>	<p>補足をさせていただきますと、今回の重点プロジェクトにつきましては、分野別施策に該当する事業として重点的に取り組む、という意図で表記をさせていただきました。今回のまち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標に該当するものを重点プロジェクトと位置づけをさせていただいたところでございます。</p> <p>表記につきましては、この辺も再度こちらで考え、その辺は検討していきたいと思っております。以上でございます。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>スケジュール的に、現時点で大きな変更をするのは大変であることは踏まえて話をしているつもりなのですが、どうしてもこのような場だと、こういった議論も必要であるという思いで発言をさせていただいています。</p> <p>今の私の疑問も踏まえて、もう一度検討はしていただきたいと思っております。どこまで修正できるかというのは町長の下での議論にお任せしたいと思っております。我々は意見を求められているので意見を言う立場ですので、よろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>それから26ページのSDGsアイコンですが、小さくて読めません。配慮して貼り付けた方がいいと思っております。</p> <p>皆さまの方から何かありませんか。無ければ続けます。基本計画ですが、分野別施策ごとに基本目標、基本施策がありますが、具体的な代表的事業が記載されていないと、やはり全体的なイメージがつかめません。敢えて除いたのかもしれない</p>

	<p>ませんが、私としては入っていた方が、より具体的に町民に伝わるのではないかと思います。</p> <p>また、具体的な指標が無いと、進行管理もなかなか出来ないのではないかと思います。ぜひ検討いただきたいと思います。例えば33ページ、地域のコミュニティ機能が低下している中で要となるのが「ボランティアセンターでの活動や町社会福祉協議会の事業の活性化」あるいは「地域福祉ネットワーク」です。これらをやっていく際に、具体的に何をするのか無いと言葉だけで終わってしまいます。進行管理のやりようもなく目指すべき指標も無いため、ひと工夫してほしいと思いました。</p>
事務局 (江本)	<p>基本計画の分野別施策で表現させていただいたものについては、いわゆる網羅的な表現をさせていただいております。基本計画の次に出てきます実施計画にて具体的な事業を記載し、進行管理することと考えてございます。</p> <p>また、指標につきましては、重点プロジェクトに数値指標を設けてございます。重点プロジェクト及びまち・ひと・しごと創生総合戦略と連動させながら進行管理をしていくという考え方で作成し、進行の管理は同様に実施計画で行っていくことと考えてございます。</p>
鈴木会長	<p>ただ、この総合計画での主要施策と、まち・ひと・しごと創生総合戦略とは、目指すものが若干違います。総合戦略の方の指標で事足りる、という話ではないのでしょうか。意見を踏まえて、検討できるところは検討していただきたいと思います。</p> <p>皆さまから何かありますか。無いようであれば続けていきます。</p> <p>28ページに「多目的複合施設の整備」というものが出てきますが、他に「図書館機能を有する施設」という表現も出てきます。これは統一していた方がいいのではないのでしょうか。見方によっては複数のものが出てくると誤解されることも懸念されます。</p>
事務局 (江本)	<p>ありがとうございます。表現は統一をさせていただきます。</p> <p>また、先程のSDGsアイコンの表記につきましても、もう少し分かりやすく、一覧表を作るなりして、説明等も含めて表記するよう検討してまいりますので、よろしくお願いいたします。</p>
鈴木会長	<p>はい。せっかくですので、理解されるような表記をお願いしたいと思います。</p> <p>それから43ページ「(5) 情報・通信網の整備・充実」についてですが、まさにこの通りだと思います。国でも相当予算を立ててやってきていることなので、方向を見ながらしっかり対応していかなければなりません。</p> <p>場合によっては、町内の組織体制の構築や人材育成を考えていかなければならないと思います。しっかり対応をお願いします。本日も受領印を押しましたが、もうそういう時代ではないと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、48ページの「基本目標1」「基本的方向」「(1) 農山漁村にぎわい醸成プロジェクト」「(2) 新たな活力創出プロジェクト」ですが、これは整理が足りないと思います。あとは農山漁村のにぎわいと言っていますが、漁村とまで言えるのか疑問に思います。</p>

	<p>それから（１）農山漁村、（２）活力創出と話が膨らんでいるのに対し、指標が「製造業従業員者数」しか設定されていませんが、それだけで指標は足りるのでしょうか。</p> <p>また、「現状値（令和元年度）」の欄には８，１１９人と記載されていますが、議題１で説明していただいた数字だと令和２年となっていますが、この数字はどうなのでしょう？</p>
事務局 (鈴木)	<p>宮城県の工業統計における製造業の従業者数につきましては、現在、最新のものが令和元年の数値になってございます。したがって、まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業実績として評価する際には、令和元年度の数値を令和２年度の数値として、評価をしているところではございます。</p>
鈴木会長	<p>分かりました。それから４９ページについて、教育・学習関連施設の機能充実なり、人財育成や人づくり、こういうことを通じて、町の魅力となり、移住・定住が促進されるというならば、素晴らしい話だと思います。</p> <p>このようなところの具体的施策、事業展開がいまいわからないので何とも言えないところがあるのですけれども、単なる従来事業の羅列、延長であれば、がっかりしてしまいます。具体的にどのような事業展開を想定して、このような書き方をしているのか、お話いただければいいと思いました。今の私の発言を踏まえて、文章だけで終わることなく、しっかり施策が進むように、お願いしたいという話です。よろしくお願いします。</p> <p>それから５１ページ「基本目標４」ですが、ここは非常に難解でした。ひとが集う、にぎわいのある町、そして安心して暮らせる町をつくりたい、ということだと思います。「また、人口の高齢化、頻発化・激甚化する自然災害にも配慮して、人々が安心して暮らすことができるまちをつくります。」とありますが「にも配慮して」というからには、まずメインのテーマがある上で「更に ～ にも配慮して」としないと完結しないのではないかと思います。</p> <p>また、「（２）安全で安心できるまちづくりプロジェクト」では、防災・減災がテーマなのかと読めますが、中身を見ると公共施設の適正管理が主たるテーマになっているように読めます。「公共施設ストックの防災・減災に配慮した長寿命化等適正な管理を進めるとともに、地域住民との協働による災害への備え」なのであくまで適正管理というところが、主たる目的であると読んでしまう。色々な要素が入ってきて、何を言おうとしているのか疑問に思います。ここでいう公共施設というのは何を念頭において書いていますか。</p>
事務局 (江本)	<p>こちらにつきましては町が管理している施設全般を示すものとして表記させていただいた、というところでございます。</p>
若生委員	<p>資料６を見ますと、基本構想（素案）について主なご意見が５１通ほど来ています。よく読んでみますと「将来的に計画に入れてほしい」という意見だと思います。</p> <p>特に、学校運営の関係では町内小学校の統合を前提とした計画を樹立してはどうかとか、あるいは人口３０，０００人は過大評価ではないかともあります。人口減少が進み、税収が減少するというご意見もいただいております。</p>

	<p>この委員会では51通の回答があっただけという報告なのか。今日の会議には反映されてはいないのだとすれば、それがどうなのかと疑問に思います。せっかくこのような数字が出てきたのに、どうなのかなと思いました。</p>
事務局 (江本)	<p>皆さまからいただいたご意見を全て今回の総合計画に反映するとなると、なかなか難しい点もございました。</p> <p>これらは今後の町の政策等においても、活用できるという部分もあると考えてございますので、実施計画等によってご意見を考慮しながら、事業を展開できればと考えてございます。</p>
若生委員	<p>了解です。</p>
鈴木会長	<p>いずれにしても、町民説明会なりパブリックコメントには間に合わないということがあるのかとは思いますが、しっかり見ていただいて、出来るものは対応してください。</p> <p>次回は2月中下旬ということですが、皆さまの出席率が良くなるように、早く日程を決めていただきたい。</p>
事務局 (江本)	<p>はい。日程調整につきましても、皆さまに事前に、早めに調整するよう努力していきますので、今回、大変急なご連絡で、大変申し訳ございませんでした。よろしく願いいたします。</p>
高橋(榮) 委員	<p>先日は所用があり欠席して大変迷惑をかけました。会議録をみて、委員の方からご指摘いただいたこと、反省をしております。これまでの感想を今日の話し合いの中からさせていただきます。事前に配布された資料も一応は見てまいりました。計画策定について、職員の方々がよくよく現状を分析して、そしてまた住民等の声も踏まえて、本町のあるべき姿やその10年間のためにはどうあるべきかなど、よく検討がなされ、町の将来像を導き出し、また当委員会等の意見も参考にし、先を見据えた素晴らしい計画が作成されたと私は思います。職員の皆さまの企画立案に心から敬意を表したいと思います。</p> <p>ことわざに「此れ言うは易くして行は難し」とあります。計画を立てて、それについて、あれこれ言うのは簡単ですが、いざ自分が実行するとなると、これほど難しいものは無いわけです。総合計画を具現化するのは実施計画です。総合計画では、まずは町の将来像がどうあるべきかを明確にして、実施計画でいかに実施をしていくか、具現策を実施していくかということが大事だと思います。</p> <p>これまで職員の皆さま方が作られた資料に、本当に目を通して、大変なご苦勞をされたなと思っております。特に、ひとつの計画の材料として、住民の意識調査をやっているわけです。住民はもとより、転出者、あるいは昼間人口、更には中学生を含めた住民調査をやっている。</p> <p>そして町の将来像を構想したこと。大変素晴らしいことだと思います。特にやがて独立し、自らがこの町に住み、暮らしやすい町とは何なのか、中学生が意見を述べております。それを基にして、町の将来像を描きだしておられます。今日の話になりましたけれども、読んで感動いたしました。先程、文言について、なんだかんだ言われようがありましたけれども、文言は関係ないと思うのです。耳に響く言葉、それが大事だと思うのです。住みよい町、人は人、みんな違う訳で</p>

	<p>す。千差万別です。この構想。「七ツ森の輝く緑 元気なくらしが広がる 大和町」は夢の持てる響きのある表現だと思います。</p> <p>更にはひらがなで「～しあわせめぐるまち たいわ～」これまたいい表現だと思います。私であれば「～しあわせみんなでつくるまち たいわ～」とくるわけですけれども、素晴らしいキャッチフレーズだと思います。</p> <p>職員の皆さまの献身なる、意欲的に取り組んで、この計画を立てたことに対し、心から敬意を表しますし、また委員の皆さまから第1回において、色々と意見を出されたこと、またそれをすぐにこの計画の中に入れたことは大変素晴らしいことだと思います。会長さんの指導力に敬意を表したいと思います。</p> <p>以上です。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございました。意見を頂戴したいと思いますがいかがですか。</p>
山腰委員	<p>本日は遅れてしまって申し訳ありません。資料2の13ページで、気になったところが2点ございました。</p> <p>最初のまちづくりの課題の中に「SDGsの達成に向けた取り組み」とありますが、SDGsは達成しただけでは意味がなく、継続していくことも必要だと思います。達成しただけでは、そこで終わりにになってしまうので「達成と継続に向けた取り組み」とした方がいいのではないかと思います。</p> <p>次に「1. 農林・商工・観光」について「観光については、本町の豊かな自然や文化などの地域特性を十分に活用するとともに」とありますが「活用するとともに」若しくは「活用し」というのが文章的には良いのではないかと思います。</p> <p>ご検討いただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございました。</p>
事務局 (江本)	<p>大変貴重な御意見ありがとうございました。1点目のご意見は参考にさせていただきます。2点目の「1. 農林・商工・観光」については脱字でございましたので、申し訳ございません。</p>
鈴木会長	<p>他にご意見が無ければ、一旦ここで質疑応答を終了とします。</p> <p>事務局から何かありますか。</p>
事務局 (鈴木)	<p>本日、平岡会長職務代理がご欠席ということで、意見書を提出していただきました。皆さまのお手元に配布させていただいております、A4両面の資料でございます。</p> <p>意見としましては、大きく分けてまち・ひと・しごと創生総合戦略に対して1つ、第五次総合計画に対して4つ、その他として2ついただきました。</p> <p>町として、ご意見として考えていきたいと思っておりますので、配布にてご紹介したいと思います。よろしく願いいたします。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございます。あとまた気付いたことがありましたら、ご発言いただいて結構です。</p> <p>一旦ここで「(2) 大和町第五次総合計画(素案)について」を終了し、次の「(3) 大和町第五次国土利用計画(素案)について」に移りたいと思います。</p>
	<p>(3) 大和町第五次国土利用計画(素案)について 資料8～9</p> <p>説明：事務局 武田</p>

	質 疑
文屋委員	農業は大和町の大切な資源です。町土を利用して生業を立てているものでございます。まとめかた、課題、対処の仕方、そういったもの全てを見まして、非の打ち所がない内容になっておりまして、これは素晴らしい計画であるということで、私はこの計画内容で全く結構かと、そういう思いをいたしました。以上でございます。
鈴木会長	<p>ありがとうございます。その他、ご意見ございますか。</p> <p>無いようでございますので、「(3) 大和町第五次国土利用計画（素案）について」は終了したいと思います。</p> <p>以上で議事については終了いたします。</p>
町長	<p>皆さま大変ありがとうございました。長時間にわたり、まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2年度実績の評価、あるいは第五次総合計画・国土利用計画（素案）につきましても、ご審議をいただき誠にありがとうございました。</p> <p>町の方でも内部で検討、打合せをしながら継続して作成してきているところですが、やはり皆さまにお諮りをした中でご意見を頂戴し、足りないところなどの気付きもあるということでございます。</p> <p>これから、スケジュールにもある通り、12月には各地区で説明会を開催し、ご意見を頂戴することになります。夜間の会議にはなりますが、各地域に参りまして、さらに様々な地域からのご意見も頂戴し、また本日いただいたご意見も合わせまして、より良い第五次総合計画を作成して参りたいと思います。</p> <p>今後10年間にわたっての町の方向性を示す大事な計画になりますので、今日だけでなく、皆さまからご意見を頂戴する方策も考えておりますので、どうぞ忌憚なく意見をいただきたいと思いますし、またお気づきの点があれば役場に電話でも、お越しいただいたついでにでも、お話しいただければ、大変ありがたいと思いますので、今後ともよろしく願います。</p> <p>今日は、年末お忙しい中、長時間にわたりまして議論いただきましたこと、改めて御礼申し上げます。また今後ともよろしく願い申しあげまして、今日の会議の御礼とさせていただきます。</p> <p>大変ありがとうございました。</p>
鈴木会長	それでは事務局にお返ししたいと思います。
事務局 (江本)	皆さま本日は大変お疲れさまでございました。多数の御意見をいただき、大変感謝申し上げます。それでは「4 その他」について、事務局より御説明をさせていただきます。
	<p>4 その他 資料10 別添 意見書</p> <p>(1) 今後のスケジュールについて</p> <p>説明：事務局 江本</p>
	質 疑
鈴木会長	全員協議会、住民説明会、パブリックコメントはどの資料で説明するのですか。
事務局	基本的には概要版を基に説明をさせていただく考えでございます。

(江本)	
鈴木会長	この日程からいくと、町民の皆さまからのご意見とか、本日の会議で出た意見の反映というのは、前回もそうでしたが、難しいのでしょうか。
事務局 (江本)	議会等につきましては、本日頂戴した意見等を事務局等で協議をさせていただきながら反映できる部分を検討させていただきたいと思います。 その他、住民説明会等を開催した中のご意見等いただいたものについては、第三回総合計画審議会にて、意見の反映などについて調整させていただければと考えてございます。
鈴木会長	気になっていたのは特にパブリックコメントです。どういう形式でお知らせするのですか。
事務局 (江本)	基本的には町ホームページで紹介をさせていただくと考えてございます。それから住民説明会の際にも、このパブリックコメントを開催するというのを周知させていただきます。
鈴木会長	最終案にも修正がありうるという前提の資料で、説明をしてパブリックコメントを募集するということですか。
事務局 (江本)	ご意見などを踏まえ、最終案を作成していきたいとは思ってございます。
鈴木会長	スケジュール上、そうせざるを得ないと思いますが、あまり変わるのもよろしくないと思います。 先程、高橋委員からもあった通り、私も含め事務局での作業及びスケジュールを理解したうえで意見を申し上げているので、頑張っていたきたいというしかないのです、よろしく願いいたします。
事務局 (江本)	事務局として、町内の課長等、そして職員と協力しながらこの計画を策定していきたいと思っておりますので、よろしく願いしたいと思っております。
木皿委員	資料6 はどのように活用する予定ですか。またそれぞれの地域で説明会を開いた場合、もしかしたらこれに対する回答を求める方もいるかもしれません。そういった場合、どのように対応するのか、もしも今お考えがあれば、教えていただきたいと思っております。
事務局 (江本)	ありがとうございます。こちらの意見につきまして、今後の総合計画に反映させていただくという考えですが、ご指摘いただいた内容については、長期に渡る部分、即決の部分と、色々あるかと思っております。 今すぐ答えられる部分と、庁内の各課等と共有して今後のまちづくりの中で参考にさせていただく部分になるかと思っておりますので、そういった対応をさせていただく予定としております。よろしく願いします。
事務局 (江本)	他に無いようですので、以上をもちまして令和3年度第2回大和町総合計画審議会を閉会とさせていただきます。長い時間、大変ありがとうございました。
	5 閉 会

以上

上記のとおり相違ないことを証するためここに署名いたします。

議事録署名委員

大和町総合計画審議会 会長： 鈴木 隆一

大和町総合計画審議会 委員： 若生 昇